

自動バックアップ・プログラム

自動バックアップ・プログラムはユーザーの指定したスケジュールに従って、データのバックアップを自動的に行なうユーティリティです。GUI に従って、バックアップのタイプや実行時間、バックアップするファイルなどを指定するだけで、UNIX のコマンドについての知識がなくても定期的にバックアップを取ることができます。

【 主な機能 】

多彩なバックアップ・スケジュール

マンスリー・バックアップ(日付指定)、ウィークリー・バックアップ(単曜日指定)、デイリー・バックアップ(複数曜日指定)と、異なるバックアップのタイプをスケジュールすることができます。また、特定の日に例外的なバックアップの中止・実行を行なうように指定できるので、お使いになる方の環境に合わせて年間を通じたバックアップのスケジュール管理が可能です。

GUI による簡単操作

操作はすべてマウスで行なえるため、お使いになる方は、UNIX のコマンドに精通している必要はありません。また、CDE の環境では、ヘルプ・ビューアーを使用したヘルプが各画面で用意され、操作に迷うことはありません。

バックアップ情報の記録

バックアップ先のメディアには、テープ、ディスケット、ファイルが指定できます。バックアップの際には、バックアップのタイプ、保存期間、バックアップを行なった日付を同時に記録するため、誤って上書きする心配もありません。

【 多彩なバックアップ・タイプ 】

自動バックアップ・プログラムは 3 種類のバックアップ・タイプをサポートします。

月次バックアップ

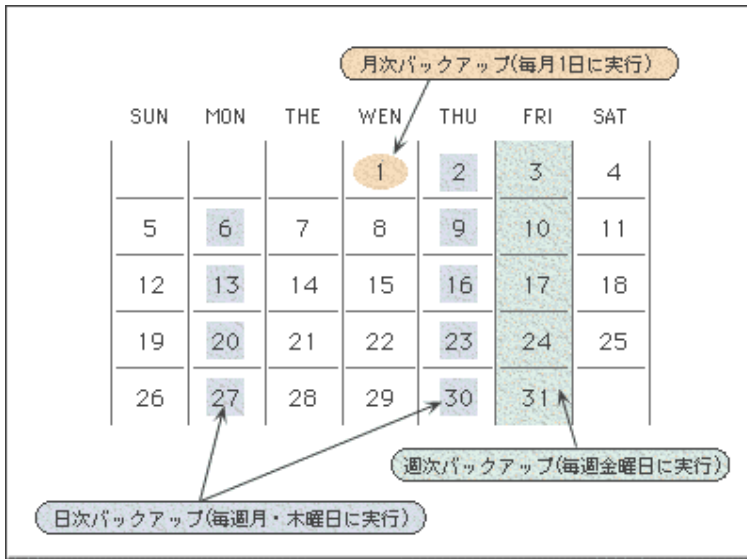
月次バックアップは、毎月決まった日にバックアップを実行します。

週次バックアップ

週次バックアップは、毎週決まった曜日にバックアップを実行します。週次バックアップで指定できる曜日は 1 つです。

日次バックアップ

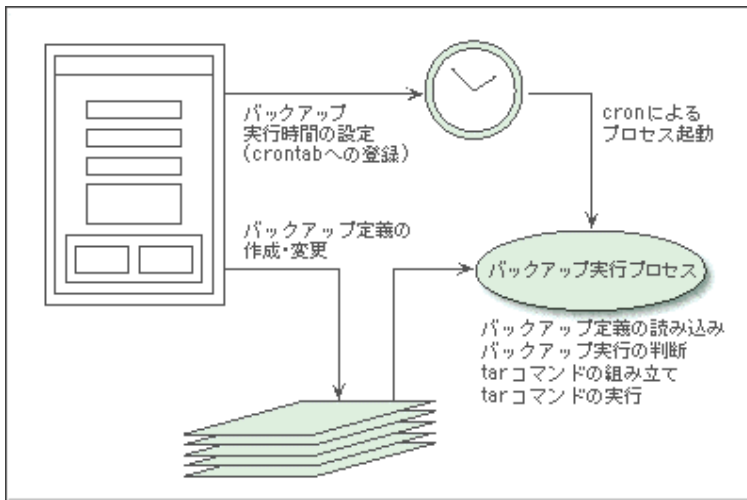
日次バックアップは、毎週決まった複数の曜日にバックアップを実行します。



さらに例外処理として、特定日バックアップ・タイプがあります。特定日バックアップ・タイプは、月次、週次、日次のいずれのバックアップも指定されていない日に、例外的にバックアップを行なう、また逆にバックアップがスケジュールされている日に例外的にバックアップを中止するように指定するものです。

【 GUI による簡単操作 】

バックアップ・スケジュールやバックアップの実行時間の指定は GUI により、ほとんどの操作がマウスだけで行なえます。CDE 環境では、ヘルプ・ビューアーによるヘルプ表示もサポートされます。



バックアップ・スケジュールはユーザー毎に定義ファイルに記録されバックアップ実行プロセスがこの定義ファイルを読みこんで実際のバックアップを行ないます。バックアップの実行時刻を指定すると、バックアップ実行プロセスが crontab に登録され指定された時間に cron からバックアップ実行プロセスが起動されます。

【 バックアップ情報の記録 】

バックアップ・プログラムは、バックアップ・タイプや保存期間、バックアップの実行日を自動的にバックアップ・メディアに記録します。さらにバックアップを取ったメディアに再度バックアップを行なう場合、自動バックアップ・プログラムはまず記録されているバックアップ情報を検査して、保存期間内のメディアに対してはバックアップを実行しません。

このことにより、重要なデータに誤って上書きバックアップすることを防止します。